

# 2025 年度（第 21 回）精密工学会賞受賞業績の紹介

## 初 澤 豪

初澤毅氏は、精密計測および微細加工技術を基盤に、バイオサイエンス・医療応用を指向した解析・診断デバイスの開発、バイオテクノロジーを援用した新奇な加工・組立技術、さらには微生物を利用したマイクロメカニズム駆動機構の研究など、バイオ MEMS 分野における先導的研究を精力的に展開してこられました。特に、DNA を活用した粒子位置決め技術によるナノメカニズム創製の研究では、2004 年度精密工学会沼田記念論文賞を受賞し、本分野における先駆的かつ革新的な研究業績として高く評価されています。また、タッピングスタイルスによる表面形状計測に関する研究でも、1999 年度に同賞を受賞されるなど、学術的に顕著な実績を数多く重ねてこられました。さらに、眼瞼圧分布測定用スクロースコートコンタクトレンズやがん探査センサ付内視鏡など医工連携研究にも取り組み、学術的価値のみならず実用性の高い成果を挙げています。

また、同氏は、2014 年度春季大会で「バイオ・医療応用展開」セッションを新設し、主オーガナイザーとして本学会の学際領域研究を推進されてきました。2022 年度春季大会では実行委員長として大会を成功に導かれました。2006～2008 年度には理事（事業企画委員長）を務められたほか、国際会議 ICPE2016 ではプログラム委員長を務め、本会の国際的活動にも尽力されました。

このように、初澤毅氏は、バイオ MEMS・計測分野の先導的研究者として、また、本学会の新しい学際領域研究推進のキーパーソンとして、学術界、産業界へも多大な貢献をされました。ここにその功績を称え、精密工学会賞を贈賞いたします。

### 略歴



- |             |                                |
|-------------|--------------------------------|
| 1981 年      | 東京工業大学工学部制御工学科卒業               |
| 1983 年      | 東京工業大学総合理工学研究科精密機械システム専攻修士課程修了 |
| 1983 年      | 工業技術院計量研究所第 1 部／力学部研究員、主任研究官   |
| 1995 年      | 東京工業大学精密工学研究所助教授               |
| 2000 年      | 東京工業大学大学院理工学研究科助教授             |
| 2002 年      | 東京工業大学精密工学研究所教授                |
| 2006～2009 年 | 精密工学会理事                        |
| 2022 年      | 精密工学会春季大会実行委員長                 |
| 2024 年      | 東京工業大学名誉教授                     |